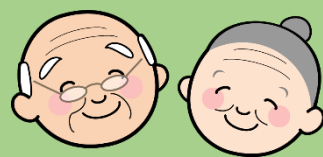


# 令和5年度第2回初級講習会



## 報告



令和5年度、第2回初級講習会を、11月7日（火）～11月17日（金）の9日間で開催しました。各先生方から内容の濃いご講義をいただき、充実した講習会になりました。参加者は、講習会を通して、提供会員として活動するための基礎的な知識や技能を身に付けようと熱心に受講されました。新たに17名の方が会員資格を取得し援助活動を始められることとなりました。

## 講習会の様子



## 保育のこころ

松山市こども家庭部 保育・幼稚園課  
岡田 祐子 先生 野本 智恵 先生

乳幼児の発育とかかわりについて、年齢ごとに詳しく教えていただきました。また、子どもの事故防止のための注意点について学びました。

### 【受講者の声】

・年齢ごとのこころの発達があり、それを理解して子どもと接することが大事である事がわかりました。保育のこころでは「なるほど」と思うことがあり自分が子育てしている時に聞いておきたかったと思いました。

## 子どもの遊び

松山市こども家庭部 保育・幼稚園課  
岡田 祐子 先生 野本 智恵 先生

先生による絵本の読み聞かせや歌に合わせた手遊び、乳児期のおもちゃを身近な材料を使って創作実習を行いました。

不適切保育防止のためのガイドラインでは子どもの人権擁護について学びました。

### 【受講者の声】

・手作りおもちゃ、「はとぽっぽ体操」等とても充実した時間でした。懐かしく思い出されました。不適切保育防止については深い話で考えさせられました。

## 子どもの心の発達とその問題！

えひめ子育てサポートラボほっこりん  
主宰 玉井 利江 先生

子どもの発達段階に合った効果的なかかわり方について、接し方の基本や効果的なコミュニケーション、相手の気持ちを確認する聞き方についてロールプレイングを交え講義していただきました。できている当たり前の行動に注目し「認める・ほめる」ことの大切さを学びました。

### 【受講者の声】

・自分の子どもは成人しましたが、これからの生き方として役立つ対応など学びました。人は何歳からでも成長するという先生のお話に納得できる講座でした。

## 子どもの心の発達とその問題 II

児童発達支援センターあゆみ学園

児童発達支援管理責任者 今村 高博 先生

様々な障がいの特性を理解し、子どものアセスメントや行動を観察しその行動に着目し原因を推測することで、環境を調整したり見通しを立て伝え方を工夫する。本人からの発信もしっかりと受け止めることも大切と講義をいただきました。

### 【受講者の声】

・関わりにくいと捉えるのは大人の都合。障がいを理解し無理にさせない。行動を観察し原因を考える。当たり前に行っていることをほめる等とても役立つ講習でした。

## 身体の発育と病気

石丸小児科

院長 中野 省三 先生

子どもの身体の発育と病気について、発熱時の対処法や吐いたり下痢をした時の注意点についてわかりやすく教えていただきました。また、インフルエンザや子どもの感染症・アレルギー疾患について症状や治療方法を講義いただきました。

### 【受講者の声】

・アレルギー疾患が多い中、子どもさんのアレルギー症状について預かる私たちは必ず把握し、症状が出た時の対応をしっかり確認しておきたいと思います。

## 子どもの世話

河原学園人間環境大学

松山看護学部看護学科 准教授 星田 ゆかり 先生

子どもの生理機能を知っておくことで病気が発見しやすくなったり、ちょっとした不調に気づきやすくなり予防ができたり、お世話をする側の安心につながることを学びました。発熱時の対応方法や排せつ機能、消化機能、子どもの睡眠（乳幼児突然死症候群）について講義いただきました。

### 【受講者の声】

・子どもと大人の生理機能の違いを理解でき、子どもを預かるときに気を付けたいと思います。先生の具体例の話が聞けてとても有意義な時間を過ごすことができました。

## 看護の基礎知識

日本赤十字社 愛媛県支部  
事業推進課 福祉係長 鶴久森 陽子 先生

高齢者の病気の特徴について心疾患や脳疾患、認知症の主な症状、その他熱中症の症状と手当て、誤嚥や窒息の事故については観察の基本や予防を学びました。

子どもに多い事故と予防について自宅内や屋外の危険個所の確認や誤飲・誤嚥の事故予防、傷や火傷の対処法について講義いただきました。

### 【受講者の声】

・高齢者の病気、特に初期症状の対応の違いで、その後の不自由さに大差が出るのが分かりました。子どもの事故防止について大事なポイントを学びました。

## 安全・事故・救命講習

日本赤十字社 血液センター  
総務課 企画総務係長 利岡 正也 先生

心臓や呼吸が停止した傷病者を、救急車が到着するまでの間に行う一次救命処置（心肺蘇生）の手順を実際に人形やAEDを使用して練習を行いました。

胸骨圧迫の仕方や気道を確保して人工呼吸を行う方法、AEDの操作手順や注意点など教わりました。

### 【受講者の声】

・一次救命が命の存続を左右する大切さを痛感しました。今日の講習で全てを覚えることは難しいですが、ここは大事という要点だけでも緊急時に対応できるようにしたいと思います。

## 子どもの栄養と食生

株式会社 ヘルシープラネット  
管理栄養士 今川 弥生 先生

子どもの栄養と食生活について、離乳食～幼児期の食事と消化吸収、排せつについて講義いただきました。元気で病気にならないために主食・主菜・副菜をバランス良く摂ることや朝食を摂ることの重要性について学びました。

### 【受講者の声】

・食べることは生きる事。栄養のバランスの大切さを再認識しました。本日習ったことを普段の生活に取り入れようと思いました。

## 介護のこころ

今治明德短期大学 講師  
介護福祉士 杉本 詠二 先生

高齢者の方とのコミュニケーションとして、関わる人の表情や姿勢、態度を意識し、笑顔で前方から声をかけ話すスピードやうなづき、ひとつずつ話す等の実技を交えご指導いただきました。物忘れと認知症の違いや、周辺症状についての講義やオカリナの演奏も披露していただきました。

### 【受講者の声】

・母が認知症なので症状や心理状態についてよくわかりました。大変役立つ講習で引き込まれるお話でした。明るい気持ちで学べオカリナの演奏もリラックスできました。

## 事業を円滑に進めるために（修了式）

まつやまファミリー・サポート・センター  
アドバイザー

ファミリー・サポート・センターの意義やしくみ、援助の仕方および事務等を伝え、実際に活動中の提供会員二人からの話を聞き質問等に答えていただきました。その後、井藤館長の終講挨拶のあと会員証を交付しました。

### 【受講者の声】

・私達の時代にはなかったサポート制度があり良いことだと思います。「私でもやれるのかな」と心配もありますが、実際に活動されている方のお話が聞けてよかったです。



参加者

9日間 11講座 延べ 185人



提供会員資格取得者

育児・介護両方	5名
育児のみ	7名
介護のみ	5名

熱心にご受講いただきありがとうございました



Thank you